

スポーツ情報

太田名部チーム初の単独優勝

第50回村長旗野球大会 ソフトバレーは中止

今年で五十回を迎えたお盆恒例の村長旗争奪地区対抗野球大会は八月十四、十五の両日行われ、太田名部チームが優勝を飾りました。

太田名部チームの優勝は二年ぶり二度目ですが、単独での優勝は今回が初めて。四十八回大会では雨で準決勝ができなく、四チームでの優勝でした。

参加チームは昨年よりチーム多い十六チーム。普代中からも二チーム参加し、北緯四〇度運動公園野球場、村民・普代中グラウンドの三会場で、気温三十度を超す暑さの中、熱戦が展開されました。決勝戦は、今年の県中総体で三位の成績を残したメンバ



初の単独優勝でうれしい太田名部チーム



最優秀選手に輝いた太田名部チームのピッチャー太田昂希君

ーをほとんどそろえた普代中Aチームと普代中野球部OBがそろった太田名部チームの対戦となりました。

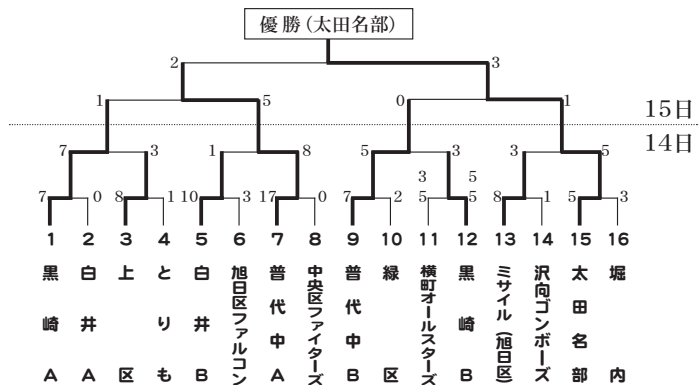
普代中Aチームの先攻で始まった試合は、両者とも堅い守りで点が取れず、四回裏で1-0と普代中Aチームが一

点リード。そして五回に試合は動きました。普代中Aは一点を追加し2-0に、その裏太田名部チームは相手のミスから三点をもぎ取り逆転。そのまま六・七回表0点を押さえきり、3-2で太田名部チームが勝ちました。

太田名部チームの下上彦一監督は「単独での優勝は初めてだと思えます。本当に信じられないです。うれしいです」と日焼けした顔で優勝を喜んでいました。

最優秀選手には決勝、準決勝と投げきった太田名部チームの太田昂希投手が選ばれました。なお、ソフトバレーボールは今年中止となりました。

大会の結果



少し泳げるようになりました

平成16年度小学生水泳教室

山政幸さんほか三人が指導にあたりました。

村教育委員会主催の十六年度小学生水泳教室は、七月三十一から八月八日までの間の五回、普代村B&G海洋センタープールで開かれ、小学一年から五年生までがビート板キックやクロールなど水泳の基礎を学びました。

小学生を対象に行われた教室には、五回で延べ六十二人が参加。二戸市水泳協会の俵



62人が参加した水泳教室

低学年はほとんど泳げない子が多く、最初は水になれる練習をしました。その後、ビート板を使つてのキック練習を繰り返し行いました。一方、高学年はクロールや息継ぎなどプールを何回も往復し、熱心に練習していました。

旭日区の川向夏央さん(普代小一年)は「深い方のプールで泳げるようになったし、潜れるようになったので、すごくうれしかったです」と喜んでいました。